



清古 高志 (財団専務理事)

ボトジョー(淀川長治)さんの教え



現役の留学生のみなさんは淀川長治さん

(1909-1998)という映画評論家を知っている方は少ないと思いますが、OB・OGの方々は御存知の方もおられるかと存じます。

かつて「日曜洋画劇場」というテレビの映画番組で解説を担当し、お別れに「サヨナラ・サヨナラ・サヨナラ」と3回叫ぶことが名物でした。

私は若い頃、淀川さんの講演を聞き、また著作物も読みました。

その中にみなさんの参考になるような3つのスローガンがありましたので、紹介させていただきます。

1つめは「Welcome Trouble」(苦勞来たれ)ということです。映画のタイトルだったのですが、私くらいの歳になるとその言葉の意味がわかってきます。それは「苦勞から逃げないで頑張ろう」そんな単純なものではありません。

「苦勞がなければ人間ではない」ということです。何も心配ない安全すぎる人には同情も理解も愛もありません。苦勞がやがてみなさんを立派な大人にします。

日本にも「艱難 汝を玉にす」ということわざがあります。苦しむ経験を持てば相手ににっこりできます。なぜなら相手に対して思いやりの精神が出来ますから。

2つめは「Welcome Stranger」(他人歓迎)です。

淀川さんは生涯独身を貫いたそうですが、この言葉を持っていたため、親が亡くなってからも寂しくなかったそうです。何でも誰にでもしゃべったそうです。

目の前を車が通ります。泥がかかったとします。他人だから腹がたちますね。それが親や兄弟だったらどうでしょう。「あつ俺が分からないのかしら・・・。疲れているんだなあいつ。事故がないといいのに」そのくらい変わってきます。

他人であろうが、身内であろうが、全部が身内になるそんなあったかい人が大好きだったそうです。このことは本財団の家族主義とも一致しているところです。

最後のひとつは淀川さんのもっとも好きな言葉で、ある無声映画から得たそうです。

非常に面白いおじさんが映画に出てきたそうです。そのおじさんが出てくると、その家の中がとっても愉快、そのおじさんが町や村へ行くと町中、村中ととてもにぎやか。そのおじさん(ウィル・ロジャース扮する)が言った言葉が淀川さんを身震いさせたそうです。

「I never met a man I didn't like」(俺はなあ まだ今日まで、嫌いな奴に逢ったことがねえ)というものだそうです。

嫌いな人に囲まれた一生は本当に寂しい人生となるでしょう。もっとも淀川さんも何人かはいやな人がいたそうです。その場合出来るだけその人の近くには近寄らなかったそうです。

みなさん3つのスローガンを頭の片隅にでも入れて、映画を鑑賞しながら素晴らしい人生を歩んでください。

安玉堯(H7奨学生、中国)

近況報告と留学生活への思い出

1999年の3月千葉大学大学院の博士学位を取り留学生生活を終え、家族を連れて帰国し北京市にある中国農業大学に就職しました。農業経済学の講義を担当し学生の指導や研究調査なども精一杯投入して毎日忙しく充実した生活を送っています。家内の鄭培愛は大学の新聞を編集する仕事です。

現在は中国農業大学経済管理学院の教授で農産物流通研究センターの主任を担当しています。家は大学キャンパス内にあるので通勤するにはとても便利です。一人子の娘は香港の大学を卒業してから東京のある金融会社に就職し、カナダ国籍の中国人と結婚して東京に在住、昨年4月に女の子が生まれて、「京京」という名前を付けました。北京と東京との友好の意味です。義理のマゴちゃんが出来まして、わが夫妻は嬉しい限り、時々ipadで東京にいるマゴちゃんと映像通信をするのは一番楽しいことです。



留学時代には楽しかったことも、辛かったこともありました。大学での勉強生活は社会人に比べて人間関係が単純であり、しかも知識を学び、能力を向上することは将来に夢を繋ぎ、楽しいことでしたが、もちろん卒業論文を書くときに徹夜し研究室でラーメンばかり食べる辛いときもありました。自分の努力によって、今は大学の教授となり、日本に留学して良かったと思っています。

留学している間、たくさんの友達をつくって楽しかったです。千葉大学園芸学部の先生方のご指導、松戸市ロータリークラブの方々との付き合い、山崎製パン松戸工場でのアルバイトなど、良い印象が残り、今でも時々夢をみます。

生活費の高い日本では私費留学生として辛い時もありましたが、OSFの奨学金援助はたいへん助かりました。毎月の決まった日に財団で交流会に参加し、色々な国の留学生と一緒に話したり料理を食べたりして、オリジナルの国際家庭の雰囲気を感じられ、とても楽しかったです。

後輩の皆さん、奨学金を受領することだけでなく、留学生の皆さんや岡本家族との友好交流も大事なことですよ。

2013年度後期行事予定

10月6日: 会館生・家族寮生・奨学生

合同バーベキュー

11月11日: 奨学生例会

11月13日: 会館生・家族寮生例会

12月14日: 年忘れパーティ

1月9日: 奨学生例会

1月15日: 会館生・家族寮生例会

1月31日: 奨学金応募締切

2月6日: 奨学生例会(フリー)

2月19日: 会館生・家族寮生例会

3月10日: 奨学生さよならパーティ

3月19日: 会館生・家族寮生例会

- ◎ 7月14日、タイからプーンさんも駆けつけてくれて、楽しく行われた。暑い日で水かけ合戦も気持ちがよかった。

会館OB会



- ◎ 8月12～15日、鴨川の海に延べ40人の学生が集まった。

鴨川の海



会館近況

- ◎ 8月3日、幕張海岸で行われた花火大会に参加。女性陣は皆、浴衣姿で参加。9月の例会も全員艶やかな浴衣姿を披露。
- ◎ 9月11日、金主榮さん(韓国、千葉大)入居。



OB 来団

- ◎ 7月、チャン・ユイヴさん(H20 奨学生、ベトナム)が来団。会社の役員になり、ハノイで活躍しているとのこと。
- ◎ 7月20日、蔡馥榮さん(H19 奨学生、台湾)が来団。(9月30日、男の子が生まれたとの連絡があった。おめでとう。よかったね。)
- ◎ 7月28日、宮崎宣仁さん(ファムさん H5 奨学生、ベトナム)が一家で来団。息子さんも立派になっていてビックリ！今は日系企業の社長として活躍している。

- ◎ 8月22日、周力君(H23 奨学生、中国)が一年間の短期留学でカナダに旅立った。カナダで友達もでき、よいスタートをきったという報あり。
- ◎ 8月27日、フィさん(H18 奨学生、マレーシア)と久しぶりに再会。しばらく会わないうちに立派な社会人になっていた。
- ◎ 9月15日、金藍洋さん(H17 奨学生、中国)が来日。昔の仲間の郭聖梅さん、金忠日さんも来てくれて、懐かしい時を過ごした。
- ◎ 9月17日、最所さん(H23 奨学生、ペルー)が来団。忙しい毎日だそうだが、元気な姿を見せてくれた。
- ◎ 9月18日、ルーリンさん(H16 会館生、ラオス)ファミリーが、先月生まれたばかりの道菜ちゃんを連れて来団。ラオスのお母さんも一緒に。

OB会～in カンボジア

締め切り迫る 10月15日まで参加申し込み受付

～日程～

- 11月16日：14時集合(プノンペン)
OB会パーティー ～プノンペン泊～
- 17日：シアヌークビルの島で釣りなどをして楽しむ ～テント泊～
- 18日： ～プノンペン泊～
- 19日：解散

★プノンペンのホテルは5000円ぐらいの所を予定
ホテル代・プノンペンまでの交通費各自負担
(OB会パーティーなどの交流費は理事長負担)



蔡馥榮さん夫婦



ルーリンさん家族



チャン・ユイヴさん



金藍洋さん 金忠日さん
郭聖梅さん



メンディさん



ヌリグリさん

結婚おめでとう!!

- ◎ 5月にヌリグリさん(H23 会館生、ウイグル自治区)が結婚
- ◎ 8月9日、メンディさん(家族寮)がモンゴルで結婚
それぞれ民族衣装が似合っていて、幸せなカップルだ。

グリスム・イマム (家族寮) 中国 (ウイグル)

明海大学経済学研究科 経済学専攻

専攻科目の選考理由と将来の目標

私は将来、レストラン経営に携わるつもりである。現在、地元ウイグル自治区でウイグル料理のチェーン店経営をしている。ビジネスは経営経験とある程度の経済的基盤を有している。近年原材料の値上がりやメニューの値段の硬直化ゆえに大きな問題に直面している。実際、黒字経営だったチェーン店ビジネスもこの2年間に利益が大きく減少し、日々の活動をこなすことだけで精一杯の状況に陥ってしまっている。その上、人材の確保が困難になり、長年続けてきたビジネスの将来は危機的な状況になりかねない可能性が高まっている。そのため、私はチェーン店ビジネスの業績を改善したいと言う大きな希望を持っている。しかし、現在の私には、競争がますます厳しくなっていく飲食業界の中で、競争に勝ち残るための戦略を描き、業績が悪化したチェーン店の業績を改善できるほどの経営知識はない。そこで、私は大学院で経済学を全面的に勉強し、チェーン店ビジネスの改善と継続に必要な経営戦略を実行できるような知識と能力を身につけたいと考えている。

【入学後の計画】

大学院では、授業に加えて、社会人や他国の学生とも積極的に交流し、視野を広げていきたいと考えている。

この二年間で文化的、多民族的な分子が違った地区でチェーン店経営に及ぼす影響等を経済学的な角度から分析し、成功した日本企業の歩みをもとに、経営に強い組織はどうやって作れるかに関する答えを探していきたい。



私は1年目に専門科目で経営の理論的な知識を習得した上で、具体的には競争相手・顧客・資金サイクル・国の文化や習慣を把握したい。

2年目に組織論を学ぶことで、経営の組織構造・マーケティング戦略・人事マネジメント・競争戦略など経営戦略全体について調べ、特に飲食界で欠けている組織・人材の活用と養成という視点を持ちたい。更に飲食店経営で新しい客を増やし、リターン率の向上のため、より良いサービスの提供、顧客満足と企業の成長を重視した経営戦略的知識を身につけたい。レストラン経営を行う上で、基本となるのは経営の健全化であり経営基盤を整え顧客との関係を築く為に必要な会計学知識を勉強したい。

最後に、全てをまとめ、飲食界で人から生み出されるものである優秀な人材を確保し、職場の環境を改善し、職員の満足度を高め、いきいきとしたサービス提供が出来、活気ある企業を作り、経営興隆につながる方法についてレポートを作り上げたい。

【修了後の計画】

経済学を卒業後、まず、日本の飲食業で働き、実務経験を積みたい。又、将来実際に自分の会社を設立したときに支援し、サポートしてくれる人的なネットワークを築きたい。その後、実際に日本の飲食会社で研修を受け、大学で学んだ経営の理論・知識が実際にどのように応用されているかを体験したい。そして、母国に戻り、創業し、学んだ経済の知識と体験を生かし、母国で飲食界を発展するために全力を尽くしていきたい。

翁 敏捷 (奨学生) 中国 (福建省)

千葉大学 工学研究科 人工システム専攻

日本での留学生生活において 苦しかったことと嬉しかったこと

日本に来て3年になった。時間はアツという間に過ぎた。日本に来る前から憧れていたことがいっぱいあり、家族と離れて、自分の道を自分で切り開くと決めていた。

中国で大学を卒業して、すぐ日本に来て新しい環境で生活を送り始めることになった。私は中国で日本語をあまり勉強していなかったため、日本に来てすぐに千葉大学に入学して、殆ど自分で日本語の勉強をしていた。中国での私の家は一般家庭であるが、中国と日本の給与収入にはかなり大きい格差が存在していて、私費留学生である私は家族に無理をさせないため、自分でバイトを探して働きはじめた。日本に来てから、その稼いだお金で家賃、光熱費などを払い、学費までも自分で払ってきた。

しかし、最初の1年半で日本の生活に慣れることができず、蕁麻疹が出たり、胃病になったりした。



その上、去年の3月3日に交通事故に遭った。療養のため、約半年間の休学をした。もちろん、就職活動も辞めた。本当に苦しかったが、自分の成長に役立つことができると考えた。

この3年間楽しかったことも一杯ある。

日本に来て、最初の頃に、言葉の交流が不足だったが、異文化の中で、皆さんがよく理解してくれたり、教えてくれたりした。知らない日本人に優しく道案内してもらったり、手伝ってもらったりして、大変助かった。色んな人が「頑張って」と言って私を励ましてくれた。日本語などの授業では、先生のユーモラスな教え方により、分かりやすく勉強ができた。本当に皆さんに言葉で伝えきれないほど心から感謝している。

日本の綺麗な街、美しい景色などにも感動している。ほんの小さなところまでも、嬉しく感じる。

「どんなことがあっても、楽しかったことを思い出して、笑顔で人生を歩む。」というのは私の座右の銘である。笑顔は人のためになり、自分のためになることもある。

◎ 9月24日、タオさん(H12奨学生、ベトナム)からメールを頂いた。

「日本も寒くなっているのでしょうか。お父ちゃんも身体に気をつけてください。懐かしいことがいっぱいありますね。会長の本を又もう一度読み返し、ぼくのことを書いてくれたところ嬉しかったです。ぼくが会館を造ったことも記事にありました。あの会館は7年経って、100人以上仲間ができました。彼らは皆大学を出て立派になっています。日本にも何十人も送りましたよ。現在大阪にいます。1か月前、とてもうれしい話があって、その中の一人が千葉大学の研究生になります。彼はOB会に交流しに来た子です。今度挨拶に行くよう言っておきます。よろしくお願いします。日本の会館とベトナム会館の交流をすごく結びたいです。彼らが兄弟のようになってほしいですね。兄弟は仲良くして、平和の元です。タオ」 その通りですね。ありがとう、タオ君！

